蓮田市男女共生情報誌

ぱすてる

第25号
2025.2

ぱすてる第２４号では、性的マイノリティに関するパートナーシップ制度の市町村間連携と女性に対する暴力をなくす運動であるパープルリボンキャンペーンについて取り上げました。

今回の第２５号では、ぱすてる第２３号で掲載したアンケート調査から少し内容を変えて、災害時における防災対策について男女共同参画の視点で考え、男女間の意識の差を調査しました。令和６年６月３０日に蓮田市総合文化会館ハストピアで開催された、子育てでつながろうMiNiフェスタにてアンケートを行い、結果をまとめました。

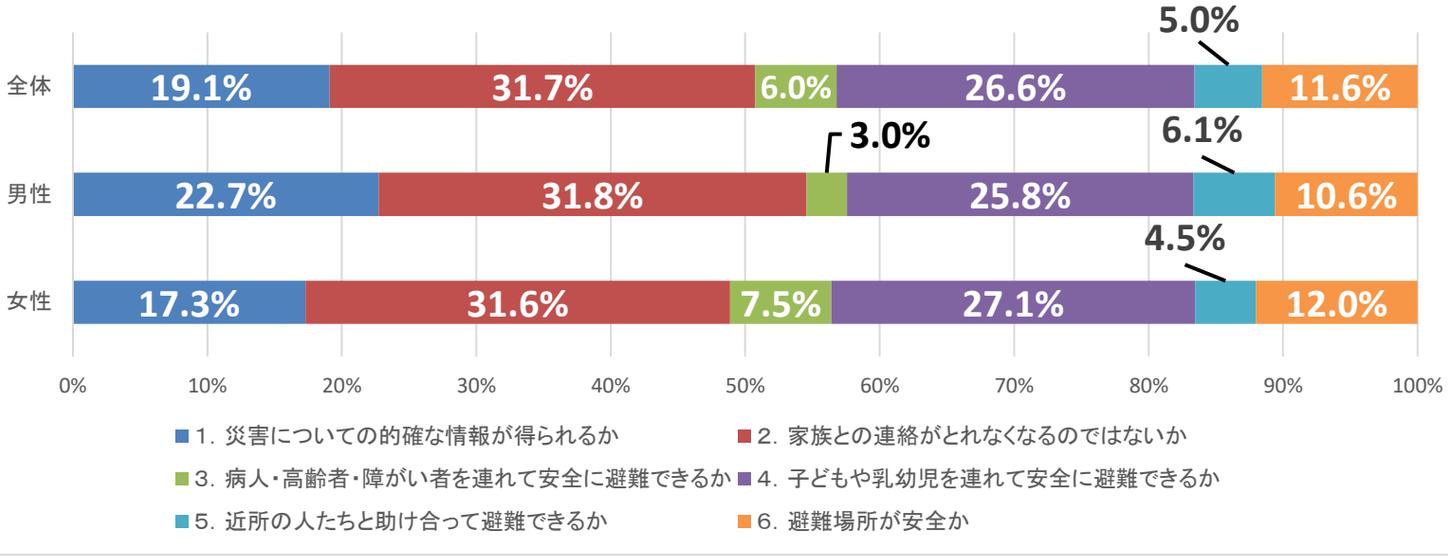
男女共同参画に関するアンケート

「子育てでつながろうMiNiフェスタ」に参加されている方々に男女共同参画に関するアンケートを行いました。
ご協力いただいた方の性別や年齢は次のとおりです。

性別	男性	女性	未回答	合計
	３５名	５３名	０名	８８名

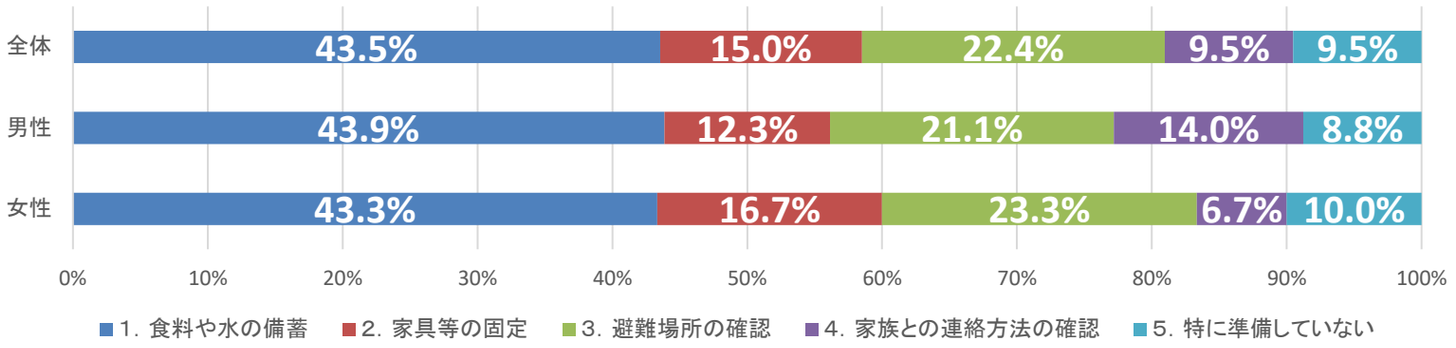
年齢	１０歳代	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳以上	合計
	０名	５名	４１名	２７名	７名	６名	２名	８８名

問３．災害が発生し避難が必要になったとき、あなたはどのようなことが心配ですか。



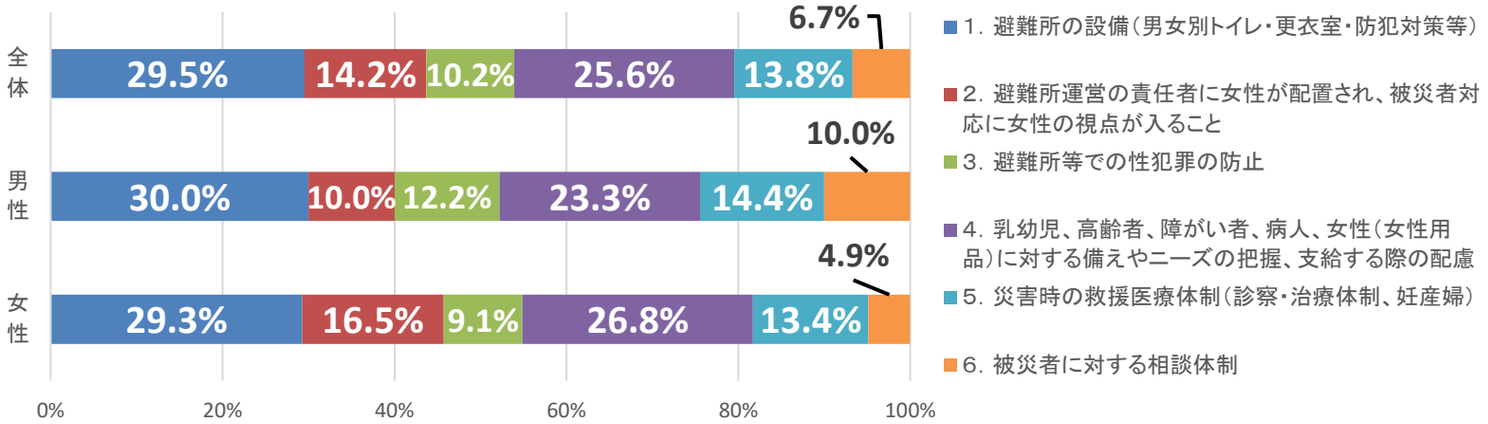
災害発生時における避難が必要になった際の心配としては、男女ともに1位が家族との連絡がとれなくなるのではないか、2位が子どもや乳幼児を連れて安全に避難できるか、3位が災害についての的確な情報が得られるかという結果になりました。

問4. あなたの家庭では大地震が起こった場合に備えて、何らかの対策を講じていますか。



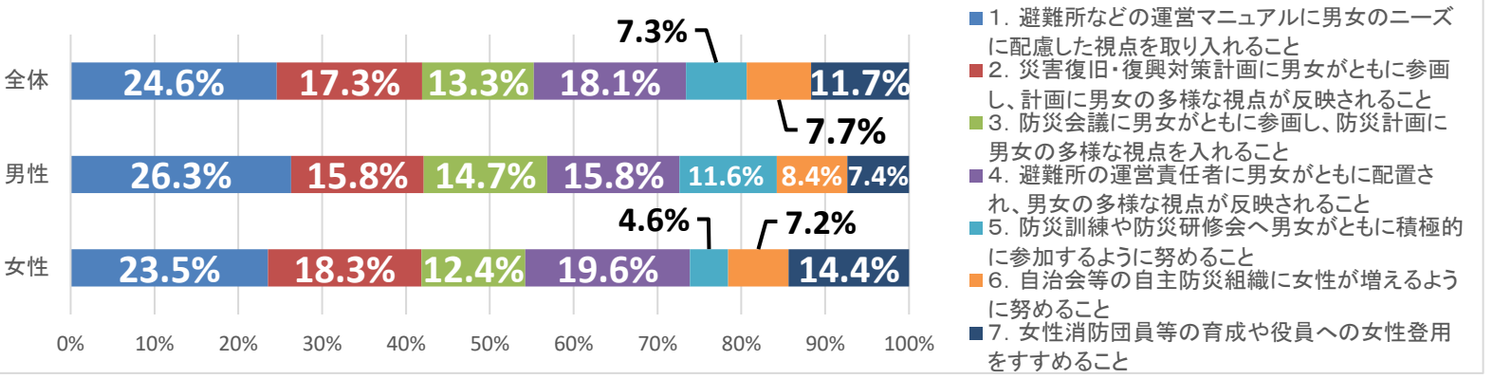
災害に備えての対策について、男女ともに1位は食料や水の備蓄、2位は避難場所の確認でしたが、3位は男性が家族との連絡方法の確認、女性は家具等の固定という結果になりました。

問5. 防災・災害対策で、男女の性別に配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。



防災・災害対策で、性別に配慮した取組について、男性は被災者への相談体制の充実を必要と感じているのに対し、女性が避難所運営の責任者に女性を配置することを重要視している傾向がみられました。

問6. 防災・災害対策において、男女共同参画を推進していくために必要だと思うことはなんですか。



男女共同参画を推進していくために必要だと思うことについて、男性はマニュアルに男女のニーズに配慮した視点を取り入れることや、防災訓練等に男女が積極的に参加するように努めるなど実務的な内容が多かったです。女性は避難所の運営責任者に男女がともに配置されることや、女性消防団員等の女性登用を進めることなど、組織的な内容が多かったです。

女性人材リスト登録者募集

蓮田市では、市政や地域の発展に積極的に参加していただける女性を募集しています。応募していただいたかたは、「蓮田市女性人材リスト」に登録させていただき、市の審議会や委員会等の委員等を選出するときの資料として活用させていただきます。

蓮田市マスコットキャラクター
はすぴい

「ぱすてる」とは？

子どものころから女はピンク、男はブルーと従来の固定観念にとらわれてしまっていることが多いようです。男女が性別にこだわらず自由に好きな色が選べ、柔軟な発想ができることを理想としていきたいと願い、やわらかい中間色という意の「ぱすてる」としました。

蓮田市男女共生情報誌

発行：蓮田市役所総務部庶務課

〒349－0193 蓮田市大字黒浜2799－1

☎048－768－3111 内線296